給食施設栄養管理状況報告書(様式3) 記載要領

この報告書は，給食施設における給食運営及び栄養管理等の状況を把握するために，柏市給食施設指導要綱第4条2項の規定により報告を求めるものです。

給食施設報告書を通じ，施設が栄養管理の状況を自己チェックし，課題を見出し，対象者の健康づくりに向けた栄養管理に取り組んでいただくことが記載の目的です。柏市ではこの報告書を通して課題を共有し，改善に向けた支援方法を検討していきます。

以下，施設にとっての各項目の記載方法を示します。

【共通事項】

- ピンク色のセルは該当するものに〇をする。
- 白色のセルには該当事項を記載する。(文字や数字)
- 緑色のセルには半角数字を入力する。
- オレンジ色のセルは自動計算のため入力しない。

番号	項目	記載方法
	年月日	●保健所に提出する年月日を記載する。
	給食施設の名称･所在地	●保健所に届出している名称･住所を記載(施設の名称であり，委託先ではない)。
	施設管理者職氏名	●当該給食施設の管理者の職名･氏名を記載。担当者や給食受託会社の管理者のことではない(例:施設長など)。
1	施設種類	●該当するものに〇をする。
2	運営方式	●該当するものに〇をする。
3	食費に関する報酬	●該当する項目に〇をする。経口維持加算に〇がついた場合Ⅰ，Ⅱのどちらかを〇で囲む。
4	1日提供食数	(1) 食事区分別 ●入所者(一般食･療養食)，通所者，その他の食事区分別に**11月の1日当たりの平均提供食数及び提供開始時間**を記載する。 ※ショートステイについては，入所者に記載する。 ※療養食については食数の多いものを左から順に記載し，(　)内には食種名を記載する。療養食のその他の(　)には，左に記載したもの以外の主な食種名を記載し，食数は左に記載した以外の全ての療養食数の計を記載する。 ●朝･昼･夕･その他(　)の「その他(　)」の(　)には「夜食」等，該当する食事名を記載する。**※おやつは含めない** (2) 栄養補給法別 ●経口栄養及び経管栄養について人数を記載する。
5	対象者の把握	(1) 健康･栄養状態等の把握 ●把握項目が1つでもあれば「有」に〇する。 ●対象者(原則として全員)の健康･栄養状態について，把握しているものに〇をする。(調査等の実施主体は問わない) (2) 性･年齢別･身体活動レベル別人員構成 ●対象者の性･年齢･身体活動レベル別人員構成を把握している場合は「有」に〇をする。 ※性･年齢別人員構成や総人数のみ把握している場合は「把握無」とする。
6	栄養計画	(1) 献立を作成するうえでの基準の作成 ●療養食も含めたすべての食種におけるア～ウの献立作成基準の作成状況について，該当する項目に〇をする。 【献立作成基準作成例】 ア「食品構成」:食品群別の使用量目安(食品構成) イ「テーマ献立」:郷土食，行事献立 ウ「食材の使用計画」:旬の食材，地場産物の使用計画等。 (2) 給与栄養目標量及び実施給与栄養量の算出 ア　一般食の食種名と給与エネルギー目標量を記載 ●一般食の食種名と給与エネルギー目標量を記載する。 (複数ある場合には献立作成上ベースとしている食種または提供食数の最も多い食種を〇で囲む) イ　上記食種の栄養量 ●6(2)アに記載した食種(複数ある場合は〇で囲んだ食種)の11月の1日あたりの栄養量を記載する。
6	栄養計画	ウ　給与栄養量の見直し ●一般食の給与栄養目標量が対象者の特性に合った設定となっているか，

		給与栄養目標量の設定の見直しの実施状況を記載する。 【例】6か月毎に見直しを実施していれば，「一定期間毎に見直しを実施」に 〇したうえで空欄に（2回/年）と記載する。 エ　給与栄養目標量の設定　・　オ　実施給与栄養量の算出 ●療養食も含めたすべての献立について実施状況を記載する。 (3)（2）の給与栄養目標量のうち，給与エネルギー目標量の設定方法を記載する。 (4)「有」の場合は具体的内容を（　　）に記載する。 (5) 給食形態について〇をする。 (6) 喫食者個々への調整の有無に〇をし、実施しているものに〇で囲む。
7	食事計画	(1) 献立作成 ●献立作成の有無に〇をする。 (2) 管理者への献立の事前承認および実施報告 ●管理者が予定献立の事前承認（決裁）をし，実施献立や実施給与栄養量の事後報告を受けているかどうかについて，該当するものに〇をする。
8	栄養教育	(1) 栄養情報の提供 ア　栄養成分表示 ●栄養成分表示：該当するものに〇をする。 ※「有」＝対象者用献立表に表示しているものをいう。 調理指示書等に表示しているものは含めない。 ●頻度：朝・昼・夕食，及びその他（夜食等）のうち，どの食事で表示しているのか該当するものに〇をする。 イ　その他 ●ポスター，栄養メモ，栄養だより等，対象者や家族向けに提供している栄養情報があれば記載する。 (2) 栄養・食事指導 ●4～11月の実施状況について内容を記載する。
9	評価	●把握事項がひとつでもあれば「有」に〇をする。 ●実施「有」＝栄養計画・食事計画に沿った給食の提供，栄養教育の実施等により，対象者に期待された効果をもたらしたかを調査等により把握している場合。 ●食事摂取量の調査＝次のとおり把握している場合は〇をし，個別か集団か該当する箇所にも〇をする。 「個別」とは，個人毎に喫食量を把握している場合をいう。 「集団」とは，全体の料理毎の残渣量を把握している場合をいう。
10	改善に向けた連携	●栄養計画・食事計画・栄養教育・評価等について話し合う会議の実施状況を記載する。 ※「対象者の栄養管理」，「給食の計画・評価」を目的とした会議を同一会議で開催している場合，それぞれ「有」に〇をし，会議内容の記載はどちらか一つの欄に記載する。 ●構成員：施設管理者と医師が同一人物の場合，両方に〇をする。
11	災害発生時の体制	●該当するものに〇をする。「有」の場合は対象，人数，日数，主なものを記載する。併せて，「災害対策セルフチェック表」（柏市ホームページ参照）を活用し，体制の強化を図る。
12	従事者の研修会参加	●4月～11月における従事者の研修会参加回数，内容を記載する。
13	今後の取り組み計画	●課題に対し，施設でどのように取り組むのか，課題及びその改善計画についてそれぞれ記載する。 【記載例】 課題：経管栄養の者が多い（一般食〇名，療養食〇名，その他〇名） 計画：歯科医及びST等と連携し，嚥下訓練の強化を行うとともに，食事形態の改善検討を行う。
14	報告書作成者	●本報告書の作成者を記載する。 ※本報告書の内容確認ができる連絡先を記載する。